



# 日本モンゴル文化学会 第一回冬季大会 (2019)

時間:2019年2月2日(土曜日) 10:00~17:55

場所:XXキャンパス XX会館 XX階 XX室 〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

開会の案内・研究発表規則 10:00~10:05

開会の辞・学会成立の趣旨(会長)10:05~10:10

## 第一部

司会:包小蘭(首都大学東京)

T・アルタンバガナ(千葉大学大学院・人文公共学府・博士後期課程) (10:10~10:35)

「文化パフォーマンスとしてのモンゴル人の歌舞団

—シリングル盟ソニト右旗のウランムチル歌舞団を事例に一—

ツェルゲル(東京学芸大学研究員)

烏日哲(一橋大学国際教育センター非常勤講師) (10:35~11:00)

「継承語としてのモンゴル語教育における保護者の意識とジレンマ

—在日内モンゴル人親へのアンケート調査を通して—

白双龍(東京外国語大学大学院・総合国際研究科・博士後期課程) (11:00~11:25)

「内モンゴルにおける民族教育の変容」

何広梅(お茶の水女子大学大学院・人間文化創生科学研究科・博士後期課程) (11:25~11:50)

「蒙疆学院の研究

—モンゴル人に対する蒙疆学院の意義について—

○ Lunch Time (11:50~12:50)

## 第二部

司会:T・アルタンバガナ(千葉大学)

新巍(大阪市立大学文学研究科・後期博士過程・都市文化研究センター研究員) (12:50~13:15)

「モンゴル牧畜社会における預託制度の変容」

ウニバト(千葉大学大学院・人文公共学府・博士前期課程) (13:15~14:40)

「乾燥地ソニド左旗の牧畜民の定住化

—典型的三つのガチャを事例に一—

ソロンガ(千葉大学大学院・人文社会科学研究科・博士後期課程) (13:15~13:40)

「内モンゴル自治区アラシャー盟のラクダ牧畜に関する考察」

○ コーヒーブレイク (13:40~14:00)

میں بھی اس کے بارے میں سوچنا چاہیے:

• اس کے بارے میں سوچنا چاہیے کہ کیا اس کے بارے میں سوچنا چاہیے ہے؟  
• اس کے بارے میں سوچنا چاہیے کہ کیا اس کے بارے میں سوچنا چاہیے ہے؟  
• اس کے بارے میں سوچنا چاہیے کہ کیا اس کے بارے میں سوچنا چاہیے ہے؟  
• اس کے بارے میں سوچنا چاہیے کہ کیا اس کے بارے میں سوچنا چاہیے ہے؟

17 • اس کے بارے میں سوچنا چاہیے کہ کیا اس کے بارے میں سوچنا چاہیے ہے؟  
• اس کے بارے میں سوچنا چاہیے کہ کیا اس کے بارے میں سوچنا چاہیے ہے؟  
• اس کے بارے میں سوچنا چاہیے کہ کیا اس کے بارے میں سوچنا چاہیے ہے؟  
• اس کے بارے میں سوچنا چاہیے کہ کیا اس کے بارے میں سوچنا چاہیے ہے؟

• اس کے بارے میں سوچنا چاہیے کہ کیا اس کے بارے میں سوچنا چاہیے ہے؟  
• اس کے بارے میں سوچنا چاہیے کہ کیا اس کے بارے میں سوچنا چاہیے ہے؟  
• اس کے بارے میں سوچنا چاہیے کہ کیا اس کے بارے میں سوچنا چاہیے ہے؟  
• اس کے بارے میں سوچنا چاہیے کہ کیا اس کے بارے میں سوچنا چاہیے ہے؟





# 日本モンゴル文化学会 第一回冬季大会 (2019)

時間: 2019年2月2日(土曜日) 10:00~18:15

場所: 首都大学東京南大沢キャンパス 国際交流会館 1階

開会の案内・研究発表規則 10:00~10:05

開会の辞・学会成立の趣旨(会長) 10:05~10:10

## 第一部

司会: 包曉蘭(首都大学東京)

T・アルタンバガナ(千葉大学大学院・人文公共学府・博士後期課程) (10:10~10:35)

「文化パフォーマンスとしてのモンゴル人の歌舞団

—シリングル盟ソニト右旗のウラーンムチル歌舞団を事例に一—

ツェルゲル(東京学芸大学研究員)

烏日哲(一橋大学国際教育センター非常勤講師) (10:35~11:00)

「継承語としてのモンゴル語教育における保護者の意識とジレンマ

—在日内モンゴル人親へのアンケート調査を通して—

白双龍(東京外国語大学大学院・総合国際研究科・博士後期課程) (11:00~11:25)

「モンゴル民族学校における文化活動を生かした授業実践について

—内モンゴルの民族小学生に関するアンケート調査を通して—

何広梅(お茶の水女子大学大学院・人間文化創生科学研究科・博士後期課程)

(11:25~11:50)

「蒙疆学院の研究—モンゴル人に対する蒙疆学院の意義について—

○ Lunch Time (11:50~12:50)

## 第二部

司会: T・アルタンバガナ(千葉大学)

包曉蘭(首都大学東京・人文社会学研究科・客員研究員) (12:50~13:15)

「内モンゴルにおけるモンゴル医療の社会的機能について」

サランゴワ(株式会社カイクリエイツ) (13:15~13:40)

「内モンゴル・ホルチン地方におけるシャマンの病氣治療」

白查日蘇(静岡大学大学院・人文社会科学研究科・博士前期課程) (13:40~14:05)

「モンゴル国におけるシャーマニズムとエスニシティに関する考察

—フブスグル県ツァガンノール・ソムを事例として—

英萄(神奈川大学大学院・歴史民俗資料学研究科・博士後期課程) (14:05~14:30)

「内モンゴル・ホルチン地域におけるラマ廟に関する考察

—ジャロード旗バンスン・スムを事例として—

○ コーヒーブレイク(14:30~14:45)

### 第三部

- 司会:鳥日哲(一橋大学)  
靳巍(大阪市立大学文学研究科・後期博士課程・都市文化研究センター研究員)  
(14:45~15:10)  
「モンゴル牧畜社会における預託制度の変容」
- ウニバト(千葉大学大学院・人文公共学府・博士前期課程)  
(15:10~15:35)  
「乾燥地ソニド左旗の牧畜民の定住化  
—典型的三つのガチャを事例に一」
- ソロンガ(千葉大学大学院・人文社会科学部研究科・博士後期課程)  
(15:35~16:00)  
「内モンゴル自治区アラシャー盟のラクダ牧畜に関する考察」

○コーヒーブレイク(16:00~16:15)

### 第四部

- 司会:靳巍(大阪市立大学)  
(16:15~16:40)  
チョロモン  
「作家たちの対立構造から読む内モンゴル現代史」
- 蒙古貞夫(東京学芸大学大学院・連合学校教育学研究科・博士後期課程)  
(16:40~17:05)  
「モンゴル民族の伝統芸能ホウリン・ウリゲルにおける変容研究  
—現状と課題を中心に—」
- デレゲルチチグ(ソフトバンク株式会社)  
(17:05~17:30)  
「婚姻儀礼におけるモンゴル服装の装いの変化に関する考察  
—アルホルチン旗を中心に—」
- シラン(首都大学東京・人文科学教育研究科・博士後期課程)  
(17:30~17:55)  
「学校教育における文化伝承に関する考察  
—内モンゴルの小中学校の美術教科書を手掛かりに一」

### 閉会の辞

- 副会長:総括  
司会:T・アルタンバガナ  
(17:55~18:05)

### 日本モンゴル文化学会顧問:

- 楊海英(チョクト)教授 「学会今後の方針について」 (18:05~18:10)  
ボルジギン・フスレ教授 「学会成立について」 (18:10~18:15)

- 懇親会&新年会(羊肉・ボザーなど、予約制) (18:30~20:30)  
参加費:3000円(学生2500円)

**場所の案内: 首都大学東京南大沢キャンパス 国際交流会館 1 階**  
(事情によって変更する場合は、1 階の知らせを参考下さい)  
〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1



**アクセス:**

京王線相模原線「南大沢」駅下車

改札口から学校まで徒歩約 5 分

**連絡先:**

日本モンゴル文化学会

メールアドレス

[mglculture@yahoo.co.jp](mailto:mglculture@yahoo.co.jp)

懇親会 & 新年会に参加する方は

以上のメールアドレスに連絡ください。



**会場までの道順:**

(南大沢駅から会場まで約 13 分)

京王線相模原線「南大沢」駅改札口

改札口を出て右へ進む

首都大学東京南門まで徒歩 5 分

キャンパスの南門を通り、まっすぐ進む

インフォメーションギャラリー(大きい屋根)で右に曲がる

右前方の屋根のある通路を進む

図書館の前を通過

牧野標本館の前を通過

右手に国際交流会館が見えてくる